



高市内閣は欠陥機・オスプレイの 配備撤回と飛行中止を決断せよ!!



オスプレイとは? 私たちが反対する理由

オスプレイは、両翼の先端についているプロペラ部分の向きが変えられる輸送機。上に向けてヘリのように垂直に離着陸したり、前に傾けて固定翼機のように高速で飛ぶことができるとされています。

しかし、機体の構造上、着陸時に強い下降気流を発生させ、その際に地上の砂塵等を含んだ粒子を大

量に巻き上げるため、その粒子がエンジン・フィルターで完全に除去されずにエンジン内に吸い込まれて燃焼不良を起こし、失速・墜落するリスクを抱えていることが明らかになっています。墜落事故を繰り返し、事故死は米兵63人。事故件数は数えきれません。アメリカでは「空とぶ棺桶」と言われています。それが自衛隊に配備されたのです。

自衛隊も17機配備

習志野基地めがけて飛行して墜落したら大惨事

そんな危険極まりないアメリカ製のオスプレイを5年前にアメリカから17機を総額約3600億円という莫大な価格で購入した国は唯一日本だけ。決定したのは安倍当時首相でした。国民や自衛隊員の命や財産よりアメリカのポチであることを選択したのです。

すでに在日米軍所有のオスプレイは沖縄の米海兵隊普天間基地に24機、横田基地に6機、自衛隊に17機、合計47機が配備されています。さらに日本の自衛隊が14機。木更津基地での5年の暫定配備を経て、市民の反対の声を無視して佐賀空港へ配備を強行したのです。佐賀の市民は「県が防衛省に無償で県有地を使わせるのは違法」として県民が訴訟を起こしています。また、これまでも米軍普天間飛行場から

発生する騒音被害の救済を求めた訴訟では国に対し、約13億円の支払いを命じたものの、ヘリやオスプレイなどによる低周波音の被害に対する賠償は認めませんでした。



自衛隊所有のオスプレイ

オスプレイは木更津から佐賀に移設されましたが、整備のための格納庫が木更津に2棟新しく建設中で、今後も日米のオスプレイが木更津駐屯地に飛来し整備される見通しです。最近ではお隣の船橋市でも飛行しており、八千代市近隣にも飛んでくると考えられます。住宅地に墜落したら大惨事です。

オスプレイ配備は

「戦争する国づくり」をめざす高市政治の一環だ

オスプレイ配備の理由のひとつに政府は「台湾有事」をあげていますが「台湾有事は日本有事」という考えがそもそも間違っています。「台湾有事」とは中国が日本を攻め込むということではなく、アメリカと中国が交戦状態になったら「集団的自衛権」で日本が自ら戦争に馳せ参じるということです。しかし、日本は専守防衛の国なのです。

それでも高市首相は安倍元首相より戦争大好き宰相ですからトランプと気が合うわけです。高市政権は2026年度の当初予算案で、防衛予算は9兆353億円で、初の9兆円台となりました。政府は防衛費増をまかなうため、2027年から所得税増税を実施。

来年中に前倒しで行われる安全保障関連3文書の改定でも防衛費は大幅に増額される見通しで、さらなる国民負担増は明らかです。

また、高市内閣は戦後日本の国是である非核三原則撤廃も目論んでいます。そのような軍拡路線を背景にオスプレイ配備があります。日本の平和と安全を守るために一緒に考えましょう。



毎月行われる駅前宣伝行動